



つながるまち 知立

CONNECTING CHIRYU

知立駅周辺エリア未来ビジョン（中間とりまとめ）
- 概要版 -

知立駅周辺エリアプラットフォーム

知立駅周辺エリア未来ビジョンとは

知立市の市民・行政・企業・鉄道事業者が一丸となって実現する
「100年に1度のまちづくり」による知立駅周辺エリアの未来です

現在、知立駅周辺エリアは連続立体交差事業及び駅周辺土地区画整理事業等により、
まちの姿が大きく生まれ変わろうとしています。

このビジョンは、このエリアの未来に対する皆さんのがんの想いを 1 つにまとめ、
エリア内外に発信・共有することで、具体的なアクションを起こすためのものです。

エリアの将来都市像と方向性、そしてその未来を実現するための道のりや方法を示します。

10年後・25年後を目指して未来を描きます

着実な未来の実現を見据え、短期(5年後)、中期(10年後)、長期(25年後)の視点で考えます。

2030

5年後

連続立体交差事業が
完了後の未来

2035

10年後

連続立体交差事業及び
駅周辺土地区画整理事業が
完了後の未来

2050

25年後

その他の知立駅周辺における
整備事業がすべて完了した
後に実現される未来

エリアのコンセプト



知立駅周辺地区は、古くは東海道五十三次の池鯉鮒宿として、

現在は名鉄本線と三河線が交わる交通の要衝として、

様々な人々が交わる、つながるまちとしてこれまで成長してきました

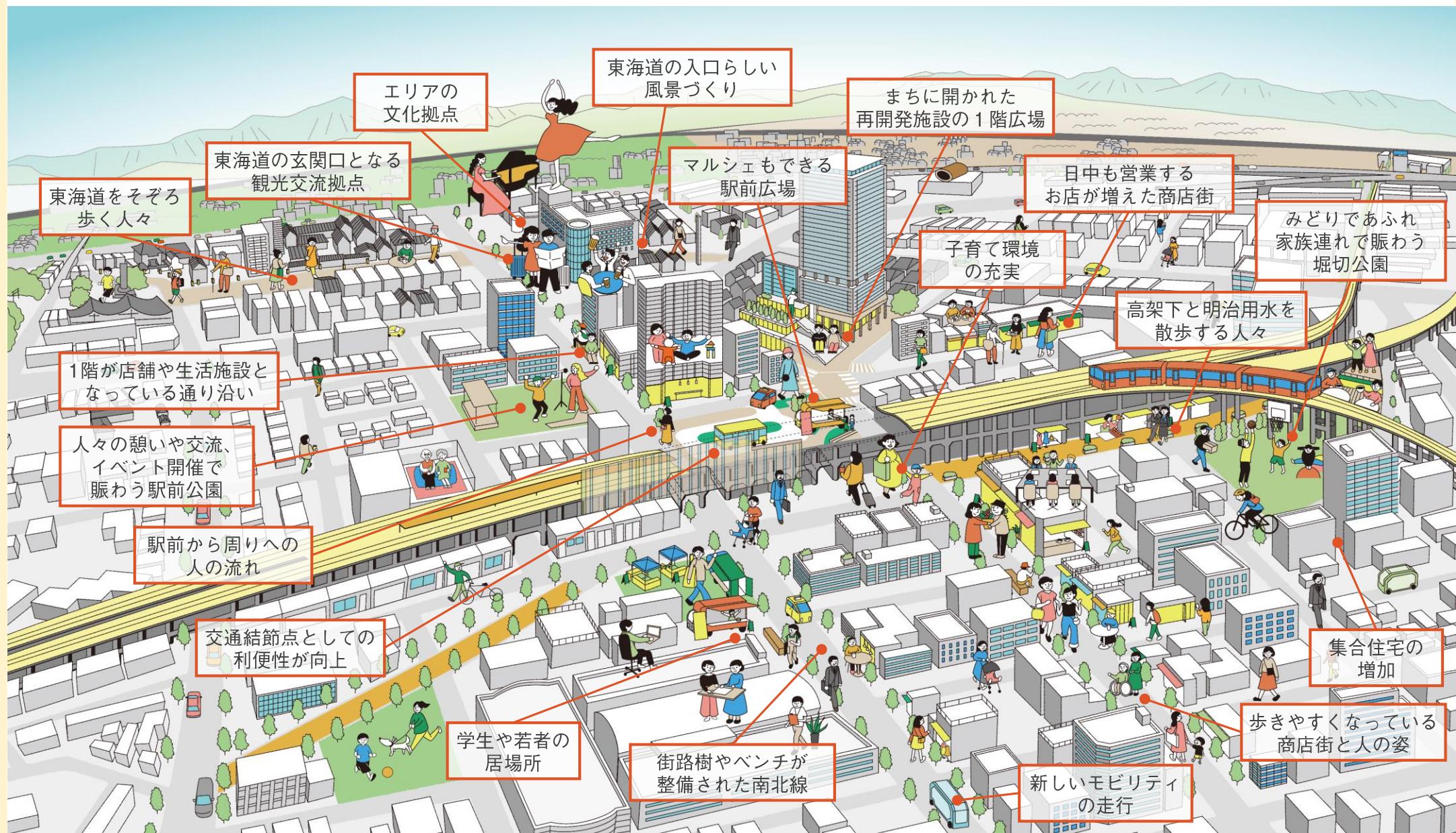
100年に1度のまちづくりのこの契機に、西三河の様々な地域をつなぐ玄関口として、

宿場町としてのアイデンティティを現代に受け継ぎ、新しいものと古いもの、

暮らしと生業、憩いと賑わい、様々な人や場所、時間をつなぎ、

そこから新しい**魅力や暮らし、挑戦を生み出す**まちを目指します

将来のまちと暮らしの姿



5つのまちづくり方針

policy
01

HUB 人と人が出会うまち

1 アイレベルでの賑わい

2 歩きやすさと回遊性

3 広域的なアクセス



policy
02

PARK 広場からはじまるまち

1 知立の玄関口

2 憩いや居場所となる空間

3 賑わいと挑戦を生む仕掛け



policy
03

WELL-BEING 暮らしを紡ぐまち

1 移住・定住しやすい環境

2 子育て環境の充実

3 安全・安心な住環境



policy
04

CHALLENGE 誰もが挑戦しやすいまち

1 学生や若者の挑戦

2 新しい技術やアイデアの実証

3 起業やビジネス拠点の支援



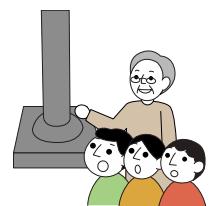
policy
05

COMMUNITY コミュニティが息づくまち

1 多様なコミュニティの関わり

2 歴史や文化の継承

3 まちを育てる体制づくり



エリアごとのイメージと重点エリア



駅前暫定広場の利活用プロジェクト

主な実施主体：(一社)ゆめナビジャパン、知立市商工会、知立市経済課 等

- 将来の駅前広場や公園のあり方や、賑わいづくりにおいて必要な設備等を検討するため、駅前暫定広場において多様な利活用や居場所づくりを実証し必要な環境を検証

HUB

PARK

事業内容

1. 広場の利活用主体の発掘と育成

- 暫定広場の利活用へ様々な主体による挑戦を後押しし、主体を発掘・育成します
- 知立市商工会のキッチンカーの貸与等により出店機会の創出を支援します



2. 日常的な居場所づくりの効果検証

- 椅子やベンチ等の設置を行い、日常的な居場所となる空間を整備します
- イベント時や平常時の人の流れを調査し、賑わい創出に向け必要な取り組みを検証します



まちなか事業者誘致プロジェクト

主な実施主体：知立市経済課・企業立地推進課、知立市商工会、碧海信用金庫 等

- 知立駅周辺エリアにおける商業や生活サービス、業務機能の集積に向け、エリア内での起業や出店の支援を行うとともに、エリアにおける出店ニーズや課題を把握・分析 HUB CHALLENGE

事業内容

1. 商業・オフィスの誘致促進

- 空き店舗を活用して新規出店を行う事業者に対し、家賃や改装費の一部補助を行い、エリア内の商業集積を支援します
- 創業・起業、スタートアップ支援を通じた補助事業の普及や相談支援を行います



2. 戦略的な商業誘致の検討・計画

- 商工団体や企業のノウハウを活かして、エリアにおける商業や生活サービス、オフィス等の立地戦略を検討し、商業・業務機能の誘致手法を検討します



高齢者居住サポート実証プロジェクト

主な実施主体：(株)FUJI、野村開発(株)、知立市経済課 等

- スタートアップ企業等が魅力的に感じる街を実現するため、様々な新技術や新サービスの実証実験を行いやすいまちとして、必要な環境を整えるための準備 **CHALLENGE**
- その第1弾として、市内企業の開発する見守りシステムを対象に実証実験を行い、高齢者が安心して住居を借りることが出来るエリアの実現を目指したサービスの開発 **WELL-BEING**

事業内容

1. 新技術による豊かな暮らしの実現

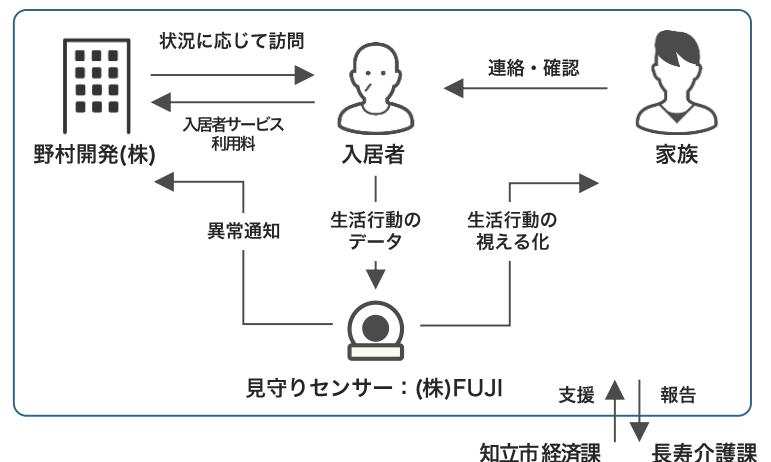
- (株)FUJIが開発している見守りセンサーの実証実験を通じて、早期のフレイル検知による高齢者の自立的生活を支援します
- 実証実験のフィールドとして、企業参入を促進するための支援体制等を検討します



株式会社FUJI提供資料

2. 居住サポート支援の実証

- 野村開発(株)が管理する賃貸物件での実証により、独居高齢者の入居条件の緩和等の可能性検証を行います
- 高齢者の生活行動のデータ分析をもとに必要な福祉サービスとの連携を推進します



東海道まちなみ修景プロジェクト

主な実施主体：知立まちづくり(株)、銀座エリアの沿道関係者、知立市経済課 等

- 訪れる人が少しでも歩いて楽しいと感じられる通りを目指して、沿道の多様な主体との連携や建物活用を通じて、東海道らしいまちなみへの修景を推進

HUB

COMMUNITY

事業内容

1. 東海道らしい風景のあり方検討

- 勉強会やワークショップ等を通じた議論や検討により、暮らしや歴史・文化、観光など、多様な関係者による今後の東海道のあり方を検討する機会を創出します



2. 風景づくりのための実証実験

- 沿道店舗や商店街、大学等が協力し、軒先の活用や灯りの実証など、東海道らしい風景や空間づくりを目的に、出来る取り組みから実証を行います



※パースはイメージです

公共空間デザインプロジェクト

主な実施主体：知立市都市開発課、有識者 等

- 新しく整備される道路や公園、駅前広場等の公共空間の計画やデザイン検討を通じて、西三河、そして知立市の玄関口にふさわしい景観づくりを推進

HUB

PARK

事業内容

知立駅周辺の公共空間のデザイン検討

- 知立駅周辺街並みデザイン構想や未来ビジョン等を参考に、有識者らとともに各公共施設の舗装や照明、植栽等の計画・検討を行います
- 道路や広場等の一体的な空間・景観デザインにより、エリア全体での回遊性や魅力の向上を図ります



知立駅周辺街並みデザイン構想：イメージパース（駅前広場、駅前公園、堀切公園）

出典：知立市 知立駅周辺街並みデザインプロジェクト (<https://www.city.chiryu.aichi.jp/soshiki/toshiseibi/toshikaihatsu/1520814591641.html>)

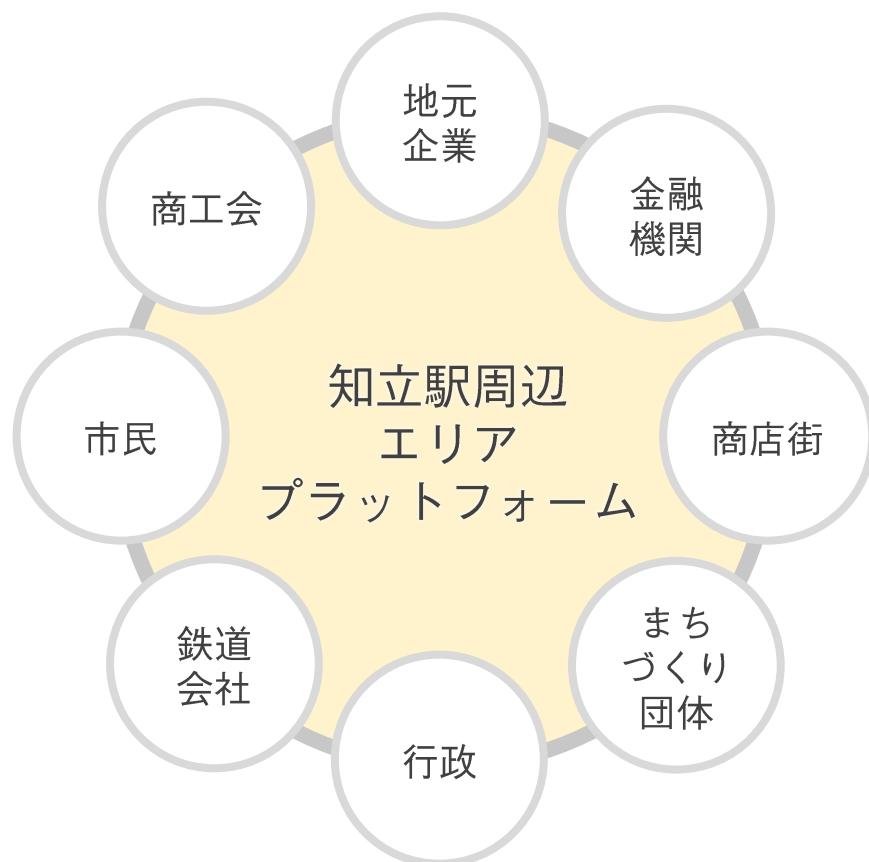
*イメージパースは知立駅周辺街並みデザインプロジェクトにより構想案としてとりまとめられたものであり、今後の計画・設計にあたって変更・見直し等が生じる可能性があります。

未来ビジョンの策定主体

策定主体 | 知立駅周辺エリアプラットフォーム

ビジョン策定にあたっては、エリアに関わる様々な主体によるエリアプラットフォームを中心に、ワークショップ等を通じて様々な市民の意見を聞きながら議論を進めました。

今後も各主体が積極的に議論と試行を繰り返し、見直しを行いながら、ビジョン実現を目指します。



エリアプラットフォーム会員 ◎会長、○副会長、●監事

- ◎ 知立まちづくり株式会社
- 町内会（本町）
- 町内会（新地町）
- 知立市商工会
- 駅北発展会
- 駅南振興会
- 一般社団法人ゆめナビジャパン
- 株式会社藤田屋
- 株式会社キャッチネットワーク
- 株式会社FUJI
- ブラザー精密工業株式会社
- 碧海信用金庫知立支店
- 名古屋鉄道株式会社
- 知立市観光協会
- 知立市役所 市民部（事務局：経済課）
- 知立市役所 都市整備部